※令和３年度以前入学生用

学校番号	３０１９

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版株式会社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、集めた情報による現代美術の表現、鑑賞の分野について学習していく

・正解が一つではない世界なので、一人ひとりの見方、感じ方が違うことを理解し、多種多様な芸術分野を理解する

・他の人の作品にも興味を持ち、自分の作品に対しても自信を持って熱心に取り組み完成させる。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫している。	美術作品などの表現の工夫や日本の芸術文化を理解し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 態度 課題提出	アイデア　原画 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 最終作品	制作発表 感想発言

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	鑑賞 絵画・彫刻	・オリエンテーション 教科書の作品を鑑賞し、好きな作品を発表する。多様な表現形式を紹介 「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ ・ピカソのクロッキー模写 ・靴の鉛筆デッサン 鉛筆の削り方、練り消しの使い方	○	○	○	○	a:美術作品の良さや美しさを感じ取り、美術の働きや文化についての理解を深めている。 d:新しいデッサンの方法を知る。右脳を使えば誰でも絵が描けることを理解する。 c:対象を深く見つめ、形態の特徴をつかみ、構成に工夫がみられる。 d:鉛筆の濃淡を使い分け、練り消し使用で完成度を高めていく。	制作態度 途中作品 完成作品
	デザイン	色彩の基礎 ・3原色で黒を作る 吹き流し作業 ・3原色で多くの色を作る	○	○	○		a:３原色の赤、青、黄色で黒が作られることを理解し、複雑な色もこの組み合わせでできていることが理解できている。 b:色彩と季節の関連に理解を深めて自由に色が作られるようになっている。 c:色彩の色と形を考えて構想を練り表現しようとしている。	基礎知識の理解 制作態度 完成作品 道具の使用状態
	デザインの応用	四季のイメージ ・色と形で四季を表現する ・細筆を用いてきれいな直線を引く	○	○	○	○	a:四季のイメージを表現することに関心を持ち、色彩の色と形を考えて構想を練り表現しようとしている。 b:自由に水彩絵具で色を作れ、四季にあった色彩で構成され、なおかつ美しく彩色しようと努力している。 c:表現する手段としての細筆を使った技法の習得 d:３原色が自由に使いこなせている。	アイデアと構成 途中の作業状態 制作態度 完成作品

※令和３年度以前入学生用

２学期	彫刻	オリジナルハンコを作ろう ・アイデアスケッチする ・単純にデザイン化する ・カッターナイフ1本で彫る ・ハンコを交換して押しあう	○	○	○	○	a:芸術作品が生活や社会を心豊かにするコミュニケーションツールとして用いられることを理解し、主体的に取り組もうとしている。 b:ハンコの特性（凸版）を理解し個性的で実用性のあるデザインが追求されている。 c:材料の消しゴムやカッターナイフの特性をよく理解し、それを生かしたデザインを工夫し、完成度も高い d:他人の作品の良い所を見つけ、感動し共感できる。	制作態度 途中作品 作品
	版画	日本の美の発見・木版画 ・版画の下絵を完成（絵師） ・彫る（彫師） ・試し刷り（摺師） ・カラー版を彫る 多色刷り	○	○	○	○	a:日本の伝統的な美術の表現の特質に関心を持ち、諸外国の美術文化について理解しようとしている。 b:夏休み課題の風景画を木版画としてデザイン構成する。 c:色刷りに必要な見当を理解し、丁寧に彫り進める。 d:日本古来の木版画の道具、刷毛、バレンなど理解して使い、一人ひとりが絵師、彫師、摺師を体験する。	基礎知識の理解 白黒作品 制作態度 完成作品
	絵画・彫刻・鑑賞	テラコッタ粘土制作 ・鉛筆立て、花籠をスケッチ ・形を決める ・粘土制作 細部も細かく丁寧に制作 ・並べた作品を鑑賞する	○	○	○	○	a:実用的な物のデザインに興味を持ち主体的に取り組もうとする。 b:テラコッタ粘土の適性を生かし形態を工夫して構想を練っている。 c:細部まで丁寧に仕上げている。必要ならアクリル絵の具を塗り、より実用的な物に仕上げている。 d:他の人の作品の良さや、表現の工夫を感じ取り、作品について理解を深め、秀作に感動し素直に褒め合える。	スケッチ形態 制作態度 彩色作品

※令和３年度以前入学生用

	デザイン	立体カードの製作 ・試作品の実験 ・レタリング、表紙を仕上げる ・カードによって色や語りを決め仕上げる	○	○	○		a:人間関係を豊かにし、コミュニケーションを高める可能性のあるカードを理解し、関心を持って制作がされている。 b:ハニカムシートの特性を理解し、文字やデザインがカードに適した作品になるように追求している。 c:レタリングを理解し丁寧にカードに適したデザインがされている。	知識の理解 制作態度 完成作品
3学期	デザイン・情報・現代美術	コラージュ ・情報を整理して主題決定 ・主題に沿った情報を切り取る ・名前を探し切り取る ・切り取った写真、文字を構成し、貼り付ける	○	○	○	○	a:自己の内面を見つめ感じ取ったことから主題を生成し、創造的に構想を練っている。 b:主体的に取り組み、コラージュの技法を生かした表現となっている c:文字の形態がそれぞれの意図により使用されていることを理解し、作品の中にそれが反映されている。 d:主題を追求し、創造的な表現の工夫がみられる。	情報集め 制作途中 制作態度 完成作品

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。